

MANHATTAN
MURDER
MYSTERY

アラン
アルダ

ウディ
アレン

アンジェリカ
ヒューストン

ダイアン
キートン



— ウディ・アレンの —
マンハッタン
殺人
ミステリー

トライスター映画提供 ジャック・ローレンス/チャールズ・H・ジョフィー プロダクション "MANHATTAN MURDER MYSTERY" キャスティング ジュリエット・テイラー 共同製作 ハレン・ロビン/ジョセフ・ハートウィック 音楽 ジェフリー・カーランド 監修 スーザン・E・モース ALICE

プロダクション アント・ロクアスト 監修者 カルロ・ティバルド、J.C. 製作総指揮 ジャック・ローレンス/チャールズ・H・ジョフィー 脚本 ウディ・アレン/マーシャル・ブリックマン 監督 ロバート・グリーンハット 主演 ウディ・アレン

DISTRIBUTED BY
COLUMBIA TRISTAR
FILM DISTRIBUTORS





渦中のウディからダイアンへのプレゼントで恋の再燃!?

最近何かと紙面をにぎわしているウディ・アレン。そのウディが妻であったミア・ファローのために書き、暖めてきた映画製作の裏側で何やら秘密が…。妻との共演がこの映画の見所だったのだが、プライベートでの破局で出演はパー。それじゃ誰が？さすがニューヨーク子のウディ！やることは洩い。この主演女優の枠をかつての恋人で大親友のダイアン・キートンにプレゼントしたのだ。ウディとの最後のコンビ作「マンハッタン」から14年。お得意のコミカルでドラマティックなテンポが復活。2人の長年の信頼と友情がこの映画で愛に変わるかもしれない。



★赤川次郎さん(作家)・評 「マンハッタンの死の匂い」

このところ、「私小説風」の作品で話題になったウディ・アレンが、思い切り楽しんで作ったこの新作、誰もが飛び切り上機嫌に演技していて、その子供のように弾む気持ちが観客に快く伝わってくる。

特に、無鉄砲に殺人事件の中へ飛び込んでいくダイアン・キートンの若々しさはどうだろう。このキートンのキャラクターは、僕のユーモアミステリーのヒロインがそのまま年令をとったみたいで、またそれに振り回されるアレンの亭主ぶりがおかし。

様々な女性を「わたり歩いた」アレンだが、結局、ダイアン・キートンが今も一番心の許せる女性なのかもしれない。そう思わせるほど、これはキートンの輝いている映画だ。そして定石通りのミステリーの展開も、こんな芸達者な連中にかかるとここまで面白くなる。

いつもの笑いに混じった苦味は、マニア好みの隠し味になって、映画ファンをニヤリとさせる。そもそも、滑り出しのムードはあの「ローズマリーの赤ちゃん」だろうし、特に、クライマックスの鏡の使い方とオーソン・ウェルズの「上海から来た女」の活かし方の巧さ。

夫婦喧嘩もあれば離婚も浮気心も出てくるが、それがエンタテインメントの世界にうまく溶け込んでいる。

格別工夫していないようでいて、これは映画の名人たちが集まらなければ撮れない娯楽作である。



MANHATTAN 殺りこ MYSTERY

ウディ・アレンの
マンハッタン
殺人
ミステリー



役者の演技は、一流の自然体。 それがアレンの映画の魅力!

ヒッチコックの「裏窓」や往年の「影なき男」のスピリットをモチーフに、アレンが久しぶりに肩の力を抜いた楽しめるエンターテインメントに仕上げている本作で、魅力満開なのはなにもキートンばかりじゃない。主人公夫妻と親しい独身の俳優兼演出家に「重罪と軽罪」のアラン・アルダが快演。「アダムス・ファミリー」シリーズでも大芝居を見せているアンジェリカ・ヒューストンが、セクシーな女流作家に扮して絶妙なる笑いをかもし出している。他に怪しい隣人というキー・ロール役を元ブロードウェイのプロデューサーで、映画はこれが2本目というジュリー・アドラーが好助演。さらに、「JFK」のロン・リフキン、「デイス・イズ・マイ・ライフ」のジョイ・ビハールといった芸達者が顔を揃えて見どころ満載!!

アパートの隣人が心臓マヒで急死した。そんなばかな?! これは殺人事件なのよ。

マンハッタンのマンションで一見優雅な生活を送るラリーとキャロルのリプトン夫妻。その彼らの隣に初老カップルのハウス夫妻が越してきた。事件の始まりは、元気だったハウス夫人が突然、心臓病でポックリ。しかし何だか奇怪しい…。妙に明るいハウス氏に疑いを持ったキャロルは早速、友達を呼んで事件のなりゆきを話した

す。こんな探偵気取りの妻に振り回されるラリーは何度も止めようとする。しかしそんな忠告もお構いなしに夫を連れてハウス氏の部屋に進入すると、そこには「灰の入った骨壺」が!! 身元調査、追跡、現場検証と私立探偵も「顔負け」。そして罠を仕掛けて犯人逮捕?



近日ロードショー!!

特別鑑賞券(¥1,500)絶賛発売中 / [当日: ¥1,800の処]

平日	11:20	1:30	3:40	5:50	8:00
日曜・祝日	10:50	1:00	3:10	5:20	7:30

日比谷・東宝映画街
シヤンテシネ1 03 (3591) 1511